

解答・解説

【第1問】

(1) 3つの数字  $X, Y, Z$  の決まり方は全部で  $6^3 = 216$  通り。

そのうち  $X < Y$  となるのは  ${}_6C_2 \times 6 = 90$  通りであるので、

求める確率は

$$\frac{90}{216} = \frac{5}{12}$$

(2)  $X < Y$  となる確率は、(1)より  $\frac{5}{12}$

$X < Y$  かつ  $X < Z$  となる確率は

$$\frac{5^2 + 4^2 + 3^2 + 2^2 + 1^2}{6^3} = \frac{55}{216}$$

よって、求める条件付き確率は

$$\frac{55}{216} \div \frac{5}{12} = \frac{11}{18}$$

【第2問】

(1)  $71 = 32 \times 2 + 7$

$$32 = 7 \times 4 + 4$$

$$7 = 4 \times 1 + 3$$

$$4 = 3 \times 1 + 1$$

よって、最大公約数は1

(2) (1)より

$$71 = 32 \times 2 + 7 \text{ より, } 7 = 71 - 32 \times 2$$

$$32 = 7 \times 4 + 4 \text{ より, } 4 = 32 - 7 \times 4 = 32 - (71 - 32 \times 2) \times 4$$

$$= 71 \times (-4) + 32 \times 9$$

$$7 = 4 \times 1 + 3 \text{ より, } 3 = 7 - 4 = (71 - 32 \times 2) - \{71 \times (-4) + 32 \times 9\}$$

$$= 71 \times 5 - 32 \times 11$$

よって、 $71 \times 5 + 32 \times (-11) = 3$  であり、方程式  $71x + 32y = 3$  は

$x = 5, y = -11$  を解にもつので、

$$71(x-5) + 32(y+11) = 0$$

$$71(x-5) = 32(-y-11)$$

71と32は互いに素であるので、 $k$  を整数として

$$x-5 = 32k, \quad -y-11 = 71k$$

と表される。よって、

$$(x, y) = (32k+5, -71k-11)$$

【第3問】

(1)  $\frac{\pi}{6} \leq \theta \leq \frac{5}{6}\pi$  より、 $\frac{\pi}{3} \leq 2\theta \leq \frac{5}{3}\pi$  であるから

$$-1 \leq \cos 2\theta \leq \frac{1}{2} \quad \text{よって} \quad -1 \leq t \leq \frac{1}{2}$$

(2)  $\cos 4\theta = \cos 2 \cdot 2\theta = 2\cos^2 2\theta - 1$  であるから、 $y$  を  $t$  を用いて表すと

$$y = 2t^2 - 3t - 1 \quad \left(-1 \leq t \leq \frac{1}{2}\right)$$

となる。

$$y = 2\left(t - \frac{3}{4}\right)^2 - \frac{17}{8}$$

であるから、 $-1 \leq t \leq \frac{1}{2}$  において

$t = -1$  すなわち  $\theta = \frac{\pi}{2}$  のとき、最大値4

【第4問】

$t = 2^x + 2^{-x}$  とおくと、 $2^x > 0, 2^{-x} > 0$  であるから、

相加平均と相乗平均の関係より

$$2^x + 2^{-x} \geq 2\sqrt{2^x \cdot 2^{-x}} = 2 \quad \text{よって} \quad t \geq 2$$

等号成立は、 $2^x = 2^{-x}$  すなわち  $x = 0$  のときである。

また、

$$t^2 = (2^x + 2^{-x})^2 = 4^x + 2 + 4^{-x}$$

であるから、 $y$  を  $t$  を用いて表すと

$$y = t^2 + at - 2$$

$$= \left(t + \frac{a}{2}\right)^2 - \frac{a^2}{4} - 2$$

$a > 0$  であるから、 $t \geq 2$  において

$t = 2$  すなわち  $x = 0$  のとき 最小値  $2a + 2$

【第5問】

$\log_2 x + \log_2 y = \log_2 xy$  であるから、 $xy$  の最大値を求めればよい。  
 $x > 0$ 、 $2y > 0$  であるから、相加平均と相乗平均の関係より

$$x + 2y \geq 2\sqrt{x \cdot 2y}$$

$x + 2y = 8$  なので、 $8 \geq 2\sqrt{x \cdot 2y}$  両辺正より  $xy \leq 8$

等号成立は  $x = 2y$  のときで、このとき  $x = 4$ 、 $y = 2$  となる。

よって、求める最大値は  $\log_{10} 8 = 3\log_{10} 2$

【第6問】

【1】公差を  $d$  とすると、 $a_1 = 38$ 、 $a_5 = 26$  より

$$38 + 4d = 26 \quad \text{よって} \quad d = -3$$

$a_n = -3n + 41$  であるから、 $a_n \geq 0$  とすると  $n \leq \frac{41}{3} = 13.6\dots$

したがって、 $n = 13$  のとき、 $S_n$  は最大となる。

【2】 $r \neq 1$  であるから、 $S_n = \frac{a(r^n - 1)}{r - 1}$

条件より

$$\frac{a(r^3 - 1)}{r - 1} = 28 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\frac{a(r^9 - 1)}{r - 1} = 2044 \quad \dots \textcircled{2}$$

② ÷ ① より

$$\frac{r^9 - 1}{r^3 - 1} = 73$$

$$r^6 + r^3 + 1 = 73$$

$$(r^3 + 9)(r^3 - 8) = 0$$

$r$  は実数でかつ  $r > 0$  であるから  $r = 2$

このとき、①より  $a = 4$

したがって、 $a_n = 2^{n+1}$

【第7問】

(1)  $b_n = \frac{a_n}{2^n}$  より

$$b_{n+1} = \frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{3a_n + 2^n}{2 \cdot 2^n} = \frac{3}{2} \cdot \frac{a_n}{2^n} + \frac{1}{2}$$

よって

$$b_{n+1} = \frac{3}{2}b_n + \frac{1}{2}$$

(2)  $b_{n+1} = \frac{3}{2}b_n + \frac{1}{2}$  を変形すると

$$b_{n+1} + 1 = \frac{3}{2}(b_n + 1)$$

数列  $\{b_n + 1\}$  は初項  $b_1 + 1 = \frac{a_1}{2} + 1 = \frac{3}{2}$ 、公比  $\frac{3}{2}$  の等比数列であるから

$$b_n + 1 = \frac{3}{2} \cdot \left(\frac{3}{2}\right)^{n-1} = \left(\frac{3}{2}\right)^n$$

$$b_n = \left(\frac{3}{2}\right)^n - 1$$

よって、 $a_n = 2^n b_n = 3^n - 2^n$

【第8問】

(1) 3点 B, P, E は一直線上にあるので、実数  $s$  を用いて

$$\overrightarrow{BP} = s\overrightarrow{BE}$$

と表せる。よって

$$\overrightarrow{AP} = (1-s)\overrightarrow{AB} + \frac{1}{2}s\overrightarrow{AC} \quad \dots \textcircled{1}$$

同様に、3点 C, P, D は一直線上にあるので、実数  $t$  を用いて

$$\overrightarrow{CP} = t\overrightarrow{CD}$$

と表せる。よって

$$\overrightarrow{AP} = \frac{2}{5}t\overrightarrow{AB} + (1-t)\overrightarrow{AC} \quad \dots \textcircled{2}$$

$\overrightarrow{AB} \neq \vec{0}$ 、 $\overrightarrow{AC} \neq \vec{0}$ 、 $\overrightarrow{AB} \neq \overrightarrow{AC}$  であるから、①、②より

$$s = \frac{3}{4}, \quad t = \frac{5}{8}$$

したがって

$$\overrightarrow{AP} = \frac{1}{4}\overrightarrow{AB} + \frac{3}{8}\overrightarrow{AC}$$

(2) (1)より

$$\overrightarrow{AP} = \frac{1}{4}\overrightarrow{AB} + \frac{3}{8}\overrightarrow{AC} = \frac{5}{8} \cdot \frac{2\overrightarrow{AB} + 3\overrightarrow{AC}}{5}$$

よって、 $\overrightarrow{AQ} = \frac{2\overrightarrow{AB} + 3\overrightarrow{AC}}{5}$  であるから、点 Q は線分 BC を 3:2 に

内分するのであるから、 $BQ : QC = 3:2$